

園だより

第13号

平成30年3月16日



ばんけい幼稚園

「おはよう」の挨拶から

園長 馬見 雅子

朝、玄関で子ども達と「おはようございます!」と挨拶を交わします。元気な「おはようございます!」の挨拶とともに張り切って駆け込んでくる子、挨拶もそこそこに何か目的に向かって部屋に入っていく子、お友達とのおしゃべりに夢中な子、言葉では言わないけど笑顔でじっと目を合わせてくる子、背中にくっついてくる子、伝えたいことがあって直ぐにお話してくれる子…様々な姿が見られます。中には今日はちょっと元気ないかな?何かあったかな?という表情の子もいます。このように朝一言の挨拶を交わす間だけで、子ども達の様々なことがわかります。張り切って登園できて充実した園生活を送れているな、お友達との関わりを楽しんでいるな、教師に安心感や愛着を持ってきているな、しっかりとした言葉で挨拶ができるようになったな、何か楽しいことがあったんだな、体調はどうかな?叱られたかな?等。一人一人の子の気持ちや育ち・体調などが見られる時間ですので、私もできるだけ朝玄関に出るようにしています。

また、離れた所や高い所から言うよりも、子どもの高さで視線を合わせて言った方が挨拶は返ってきますし、「○○ちゃん、おはよう」と名前を呼べばだいたい挨拶を返してくれます。「おはよう」の声が少ない時は、気持ちのいい挨拶ができた子をほめたたん、次々とさらに元気な声での「おはよう」が返ってきます。このように子どもとの関わり方を改めて知る場でもあります。

挨拶はなぜ大事なのかというと、その人に関心を寄せるといこと、その人と関わりたいという思いを表すことになるからではないかな、そして挨拶で始まるコミュニケーションは気持ちのいいプラスのコミュニケーションに繋がるからではないかな、と思います。大人の世界でも挨拶を交わせる関わりは決して多くないかもしれません。これからも園で、子ども・教師・保護者が挨拶を交わし、互いに思いを寄せながら生活していきたいと思います。そして卒園していく子ども達も、挨拶を交わす気持ち良さ、人と関わっていく楽しさを十分に味わえるようにと願っています。

年長組保護者の皆様からの卒園記念品、加えて虹の会より山の子まつりの収益金からの贈り物として、お知らせボード、大型絵本「バムとケロのさむいあさ」、雪玉メーカー、自然観察ボックス、子ども用包丁をいただきました。保育の中で活用させていただきます。ありがとうございました。